

# 令和 2 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	67
--------	----

担当課	財政課	担当課長	久芳 浩二			
事業担当者	笠 利恵	一次評価者	藤野 孝一			
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	無			
事務事業名	町営住宅の維持管理事業					
予算科目	8 款 4 項 1 目					
予算事業名	町営住宅管理費					
総合計画での位置づけ (施策名)	効率的で健全な行財政運営の推進					
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	公営住宅法、住宅地区改良法、特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律、久山町営住宅条例					
事業の対象	公営住宅14戸、改良住宅14戸、特公賃6戸					
事業の目的	住宅困窮者への公正公平な機会の提供。					
実施期間	開始年度	平成 28 年度から				
	終了年度	令和 年度まで				
事業の内容	建物の管理運用、入居者からの要望への対処および毎年度の収入確認等、入居者への適正な指導を実施する。					
目的達成の指標 (成果指標)	入居者からの苦情要望に対する対応率					
	区分年度	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4年度
	目標	%	80	90	95	95
	実績	%	85	91		
指標設定の考え方	入居者の生活に支障が出ない最低限の住宅とするため、入居者からの苦情要望はその内容をきちんと判断したうえで対応していくべきと考え、その対応率を指標とした。					
計画時の懸案事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築後おおむね20年以上経過し、老朽化していることから修繕経費が増加している。</li> <li>・家賃滞納者の固定化。</li> </ul>					
計画時の懸案事項への対応	<p>今後も公営住宅として長期に運用できるよう、改修の必要となる箇所及び優先順位を把握し、改修計画を作成する。計画に基づき、令和2年度は平田住宅B棟1階の改修工事を行う。</p> <p>老朽化により入居者からの要望に対し、優先度の高いところから予算の範囲内で修繕対応を行う。</p> <p>家賃を滞納する入居者に対しては督促状の発送、電話による催告、本人と面談等を行う。</p>					

# PLAN(計画)

No.2

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 467 円  
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	
事務量	① 人工数	0.17	0.17	0.17	0.17
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,179	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	1,341	1,300	1,220	1,220
事業費	直接事業費	3,744	3,000	1,925	3,000
	人件費	1,341	1,300	1,220	1,220
	合計	5,085	4,300	3,145	4,220
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,085	4,300	3,145	4,220
合計	5,085	4,300	3,145	4,220	

## 事業費計画

(千円)

区分/年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
目標	3,744	3,000	1,925	3,000	3,000
実績	3,744	2,849			

## 事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
草場紅葉台住宅外装改修	円				3,000,000
昭和町住宅外装改修	円				
平田建具改修工事	円	0	3,000,000	1,925,000	
		0	2,849,000		

## DO(実施)

### 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 451 円  
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	1 年度決算	2 年度予算	2 年度決算	3 年度予算	
事務量	① 人工数	0.17	0.17	0.17	0.17
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,652	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	1,341	1,300	1,300	1,220
事業費	直接事業費	3,744	3,000	2,849	1,925
	人件費	1,341	1,300	1,300	1,220
	合計	5,085	4,300	4,149	3,145
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5,085	4,300	4,149	3,145
合計	5,085	4,300	4,149	3,145	

## 実施備忘録

# CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	笠 利恵
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ← 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	3	C
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	2	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)	
<input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)	
<input type="checkbox"/> C見直し	
<input type="checkbox"/> D廃止	
<input type="checkbox"/> E完了	

C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

## 4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

住宅に困窮する低所得者に対し低廉な家賃で賃貸する公営住宅は、入居者の生活の安定と福祉の増進を図る役割を担っており必要であり有効と考える。建築基準法において「建築物の所有者、管理者または占有者は、その建築物の敷地、構造及び建築設備を常時適法は状態に維持するように努めなければならない」と規定されており、町有施設である町営住宅を、管理者である町は営繕業務を行う義務がある。改修工事の際には建具等を汎用品に順次変更するようコスト低減を図ってはいるが、公営住宅全体の老朽化が著しく、修繕費用が年々増加している現状では家賃収入に見合っているか効率性は難しい。  
公営住宅募集時に入居申込資格を詳細に記載し、HP等を利用し公募の手段を行っていることから、公平・透明性は確保されていると考える。

## 5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

町営住宅は住宅困窮者の受け皿として必要な事業ではあるが、令和2年度は悪質滞納者や収入超過者が数名存在したため、入居者に対して、随時、町営住宅の趣旨や入居要件等を周知する必要がある。  
今後、収入減による新たな滞納者を生じさせないためにも、督促状の発送や電話による催告等早めの対応を行っていきたい。  
既存住宅の老朽化による改修・修繕は順次進めていくが、耐用年数を超えた住宅については、払い下げや家賃を減額し修繕等は自己管理にするなど、他の自治体を参考に新たな管理方法を検討すべきと考える。  
また、建物の老朽化とともに入居者の高齢化も進んでおり、ひとり暮らしの高齢者世帯の割合も高いため、住宅改修時にバリアフリーを進めていく必要がある。

# CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	藤野 孝一
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？		
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	3	C
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	2	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

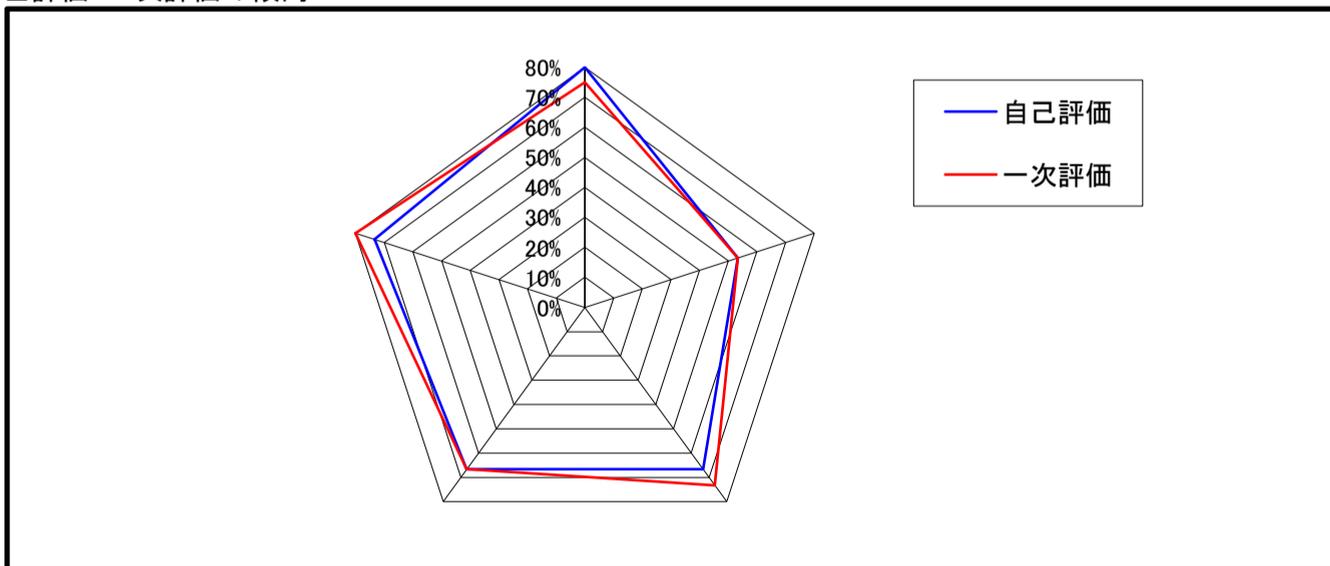
今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)	
<input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)	
<input type="checkbox"/> C見直し	
<input type="checkbox"/> D廃止	
<input type="checkbox"/> E完了	

C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

公営住宅は低所得等の理由により住居に困窮する方への必要な事業であると考え、今後も高齢化や所得減により公営住宅需要は見込まれるが、施設の老朽化による改修費用などを考慮しながら運営をしなければならない。

自己評価・一次評価の傾向



# ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

久芳 浩二

- A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

起債償還も終了し、今後は収益を活用した維持管理を進める必要がある。各施設とも建築より20年以上経過しているため、施設の老朽が顕著であり、改修計画を立て維持管理にあたる。

- B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

- C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

- D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会  
で評価する。

月 日  
開催予定

- E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり  
直し、  
月 日  
までに提出すること。

評価終了  
 外部評価へ

# ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

## 外部評価

<p>今後の方向性</p> <p style="color: red;">A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの</p> <p><input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)</p> <p><input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)</p> <p><input type="checkbox"/> C見直し</p> <p><input type="checkbox"/> D廃止</p> <p><input type="checkbox"/> E完了</p>	<p>C見直しの具体的内容</p> <p><input type="checkbox"/> 実施方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化</p> <p><input type="checkbox"/> 事業縮小</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
--	---

評価		外部評価委員の意見

## 経営者会議

経営者評価	町長
-------	----

<p>今後の方向性</p> <p style="color: red;">A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの</p> <p><input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)</p> <p><input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)</p> <p><input type="checkbox"/> C見直し</p> <p><input type="checkbox"/> D廃止</p> <p><input type="checkbox"/> E完了</p>	<p>C見直しの具体的内容</p> <p><input type="checkbox"/> 実施方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化</p> <p><input type="checkbox"/> 事業縮小</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
--	---

評価		経営者会議の結果

令和 4 年度予算要求事項(今後の取り組み)	